

第2学年「みがく」学習指導案

授業者 山賀 愛

2月20日(金) 2階D室 10:00～10:40 (話し合い11:00～11:45)

1 題材名 「決め方」を問い直す

2 題材について

本学級の子どもたちとは「自分たちの生活は自分たちでつくる」ことを大切にしてきた。自分が学年や学級の一員として何ができるかを考え、行動し、教員を含め誰かの意見だけで物事を決めるのではなく、話し合いながら自分たちで生活をつくってほしいと考えたからである。その中の一つに、「決める」ということがある。日々の時間割や献立通信を読む人、音楽会の役割、毎学期のクラス委員、座席決めなど、場面によって決め方を子どもたちとその都度話し合い、多数決やじゃんけん、くじなどの方法を採用してきた。

日々さまざまなことを皆で「決める」ということを行ってきたが、座席決めの方法に関して、教員が課題を感じていたので、座席決を通して、どのような方法で座席決めをすることがよいのか一緒に考えていきたいと思った。9月ごろまで子どもたちと行ってきた座席決めの方法は「ペアペア」というものである。これは、同性同士、異性同士などその時々で異なるがペアを決め、さらに、ペア同士が一緒に、一つの生活班を作るというものだ。昨年度から「なぜ席替えをするのか」という問いで話し合い、「たくさんの友達と仲良くなりたいから」「もっと友達のことを知りたいから。」という意見があり、より多くの子どもたちと関わることを目的にするため「まだ同じファミリーになったことがない人となる」という座席決めの前提をつくってきた。この前提があっても、ペアになれない児童が出たり、4人の生活班になる際決まらず、話し合いを行って最終的に決めることもあった。また、この方法を学級全員で話し合う際、最終的には多数決で決めていたので、ずっと「ペアペア」が選ばれていた。ペアになりたい人となれている人はこの方法を変えたいとは思わないかもしれないが、やりたい人となれない人や自分の思いだけではなく誰となるかわからない「くじ」を選択したい子どもたちにとっては状況を変えることができなかったのである。

このような実態があったので、10月の話し合いを機に、いくつかの方法を試してみることにした。10月は、班の数字が書いてあるカードを引く「くじ」、12月は男女別に座席を決めるお見合い方式で行った。子どもたちの中には、運で決めたい、自分の意思で決めたいという大きく2つの思いがあることが分かってきた。そして、今回はこれまで多くの場面で採用された「多数決」という決め方について座席決を通して、考えたい。自分の思いだけではなく、他の友達はどうなことを感じているのか、考えているのか、そうした他者の思いを想像しながら「決める」ということを考えていく子どもたちを期待している。

3 学習指導計画(8時間目/全10時間)

第1時…これまでのファミリー替えについて自分の考えを出し合い、問題点を整理する。

第2・3時…「ペアペア」の長所短所を考えるを通してこれまでの「ペアペア」のやり方を問い直す。

第4・5時…「くじ」と「ペアペア」について意見を出し合い、座席決めの方法を決める。(10月)

第6・7時…座席決めの方法を持ち寄り、座席決めの方法を決める。(11月・1月)

第8・9時…これまでの座席決めをふり返り「決め方」でよくなかったと思うことを出し合い、「決め方」を考える。…本時8/10時間

第10時…最後の座席決めの方法を考え、席替えを行う。

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- これまでの座席決めをふり返り「決め方」でよくなかったと思うことを出し合い、「決め方」を考える。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 これまでの「決め方」をふり返る。	・これまで、どのような決め方をしてきたか出し合い、気持ちがいよいよした経験やいやな思いをした経験を想起する。
2 多数決は、よい決め方といえるか、互いの考えを聴きあう。	・出された意見を黒板に整理して板書することで、子どもたちが考えやすくする。
3 学習のふり返りをする。	

□授業後の話し合いで話題にしたこと

- 2年生という発達段階で多数決について話し合ったことについて。